

## 伏見区ボランティアセンターのコーナー！

# ボランティ

伏見区ボランティアセンターとは…

「ボランティアについて、まずは話をきいてみたい」

「自分が所属しているボランティア団体の運営について相談したい！」

など、“ボランティア”にまつわる相談や関心のある皆様の支援を行う機関です♪

## ボランティア活動訪問記

伏見区ボランティアグループ連絡会に所属している各ボランティアグループの魅力を紹介！（取材：伏見区ボランティアセンター 河島・橋本）

### 取材ファイル No.6 手話サークル 「ともだち」

#### ☆グループ基本データ☆

- ・代表者：岡 みどり
- ・発足：1997年
- ・活動目的：聴覚に課題をお持ちの方と健聴者が手話を通じて理解し合うこと、手話を地域に広めることを目的とする。
- ・活動内容：
  - ①地域への手話の理解を広める活動行事（お祭りへの参加や福祉教育への協力）
  - ②定期学習…指文字の練習やグループでの会話等
  - ③郊外学習…年に1.2回郊外学習に出かけ、外出先で目に入るものを手話で表現しています。（お花の名前等）

5月中旬、毎週火曜日に行われているサークル活動日にお伺いしました！



まずは、秋ごろ開催予定のお祭りへの参加について何をするかの話し合いです。手話歌をすることはスムーズに決まりましたが、どのような曲をするか等皆さんで真剣に、積極的に意見を出されている姿が印象的でした。

次は、いよいよ手話の学習です！私達も一緒に参加させていただきました！配布された学習資料には5月に関連する単語がたくさん記載されており、それをお一人ずつ発表していきます。皆さん同じ単語を発表しているはずですが、手話で表現するときは必ずしも同じではなかったりと、発見の連続でした！

手話初心者の私たちにも温かく教え、見守ってくださりとても嬉しく、楽しい時間でした♪

#### 代表者 岡さんにインタビュー

ケアマネージャーをされていた時に参加した情報交換会で、難聴の利用者の方とのコミュニケーションの難しさから利用者の生活の様子がわからず苦慮する場面があると聞き、手話を学ぶ必要性を感じたことが、岡さんの活動のきっかけとなったそうです。

「ともだち」の皆さんの熱量はとても高く、その熱量にこたえるべく運営のやり方を工夫されていて、さらに今後は手話の実践として、もっと手話を地域に広め、ろう者の方との交流を深める活動や、災害時に手話を役立てていきたいとのことでした。

皆さんとても積極的に、楽しく手話を学ばれている姿が印象的でした！とても素敵な雰囲気の中、あっという間に活動終了時刻となりました。ありがとうございました！！

